



ニュー・ジェット・ジョー-16

取扱説明書

| | |
|-------|---------|
| FF型 | 31-965型 |
| FF-W型 | 31-966型 |

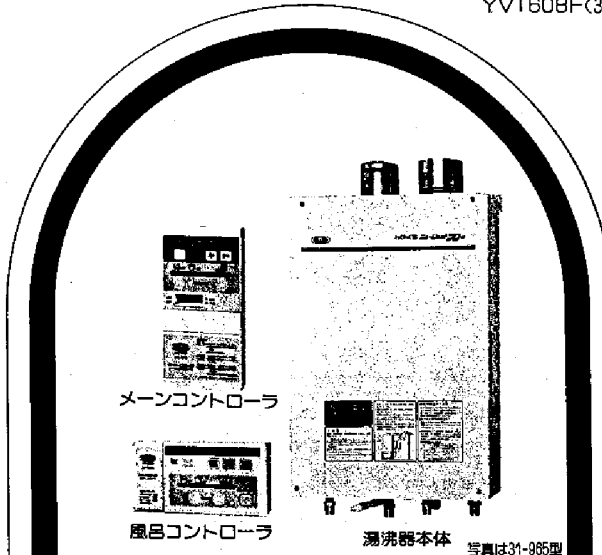
保証書付

型式名/YV1608F(31-965型)
YV1608F(31-966型)

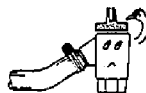
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

| | | |
|----------------|-----------------------|--------------------|
| 本社ガスビルサービスセンター | ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 | ☎大 阪06 (202) 2224 |
| 岡 支 社 | ☎557 大阪市西成区玉出東2-9-41 | ☎大 阪06 (652) 0001 |
| 北 支 社 | ☎532 大阪市淀川区十三本町3-6-35 | ☎大 阪06 (501) 1261 |
| 堺 支 社 | ☎590 堺市住吉橋町2-2-19 | ☎堺 0722(36) 1131 |
| 北 摂 支 社 | ☎669 墨江市藤の里町39-6 | ☎高 槻0726(71) 0361 |
| 阪 神 支 社 | ☎682 西宮市和上町4-11 | ☎西 宮0798(26) 3101 |
| 東 部 支 社 | ☎578 堺大阪市堀美2-3-17 | ☎河 原0729(52) 1131 |
| 京 阪 支 社 | ☎573 枚方市西田宮町16-17 | ☎枚 方0720(41) 1251 |
| 神 戸 支 社 | ☎650 神戸市中央区相生町5-13-10 | ☎神 戸078(576) 5231 |
| 京 都 支 社 | ☎604 京都市中央区丸太町地蔵町358 | ☎京 都0675(231) 8151 |
| 奈良 支 社 | ☎631 奈良市宇屋北2-4-1 | ☎奈 良0742(44) 1111 |
| 和 歌 山 支 社 | ☎640 和歌山市本町1-5 | ☎和 歌山0734(31) 2481 |
| 姫 路 支 社 | ☎670 姫路市神屋町4-8 | ☎姫 路0792(85) 2221 |
| 東 播 支 社 | ☎675 加古川市加古川向東津29-1 | ☎加 古川0794(21) 1801 |
| 豊 岡 支 社 | ☎688 豊岡市三坂町6-57 | ☎豊 岡0792(33) 2221 |
| 湖 南 支 社 | ☎625 草津市塩分町字帯地680-1 | ☎草 津0775(622) 5311 |
| 彦 根 支 社 | ☎622 彦根市大東町12-11 | ☎彦 根0749(222) 3131 |
| (長 浜 営業所) | ☎626 長浜市鳴浜駅前3-4 | ☎長 浜0749(622) 7171 |

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ



ガス器具をご使用になるときのご注意



ガス器具をご使用になったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



ガス器具をご使用中は熱くなりやす手をふれないでください



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく操作してください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

ごあいさつ

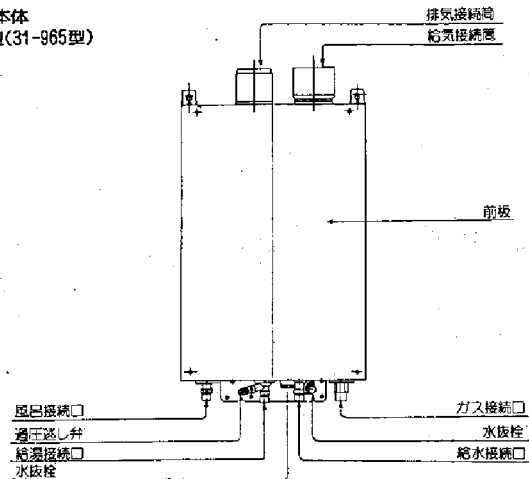
このたびは、大阪ガスの **ニューソフト FF-1E** を
お求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

も く じ

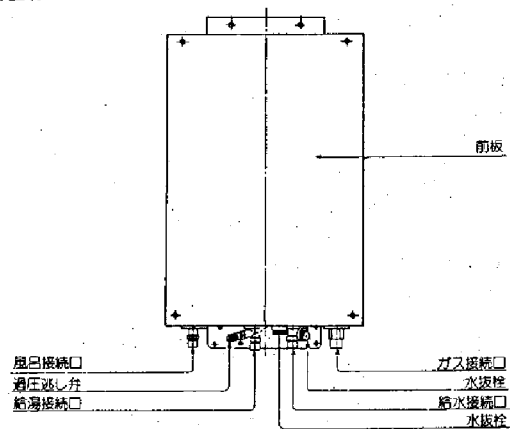
- 各部の名称..... 2
- 特に注意していただきたいこと..... 5
- 器具の設置..... 8
- 使用手順..... 8
- 冬期の凍結による破損予防について..... 21
- 日常の点検・手入れ..... 23
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 24
- 仕様一覧表..... 28
- アフターサービスのお申し込み..... 29

各部の名称

- 器具本体
FF型(31-965型)



- FF-W型(31-966型)



各部の名称②

●メインコントローラ

お湯はり予約ランプ
(緑→赤)

自動追いだしランプ(橙)

優先ランプ(橙)

燃焼ランプ(赤)

運転ランプ(緑)

湯温設定ランプ(10段階)

「時刻」ランプ(緑)

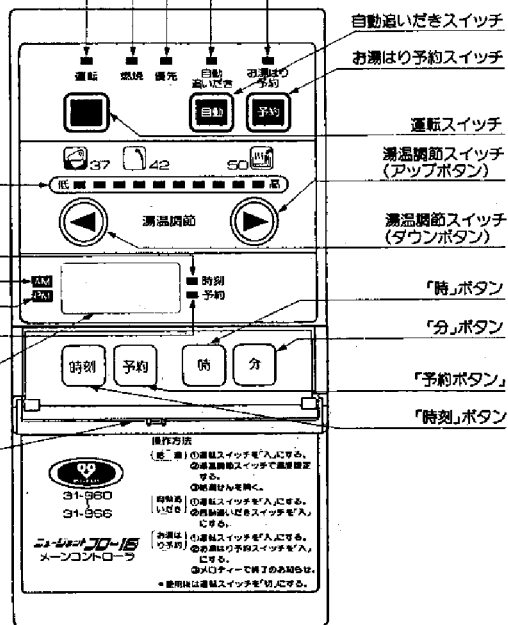
AMランプ(緑)

PMランプ(緑)

「予約」ランプ(緑)

時計表示パネル

フタ



各部の名称③

●風呂コントローラ

運転ランプ(緑)

燃焼ランプ(赤)

割込みランプ(橙)

湯温調節ランプ(10段階)

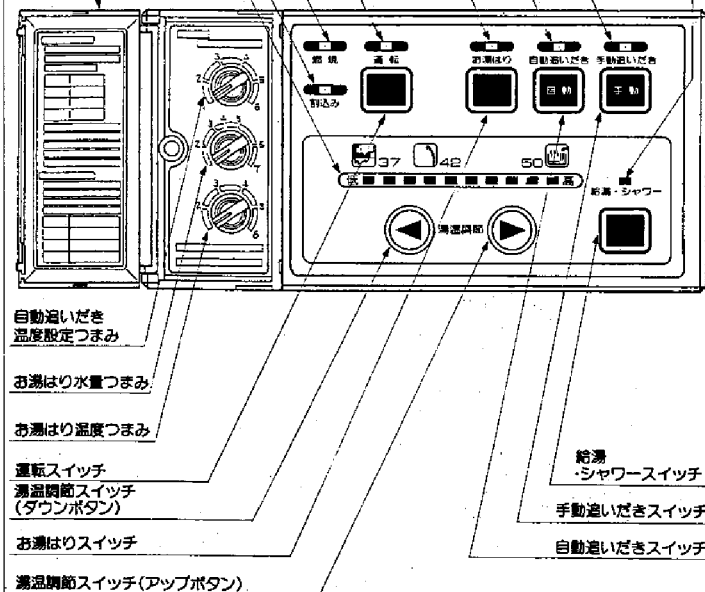
フタ

お湯はりランプ(橙)

自動追いだしランプ(橙)

手動追いだしランプ(橙)

給湯・シャワー
ランプ(橙)



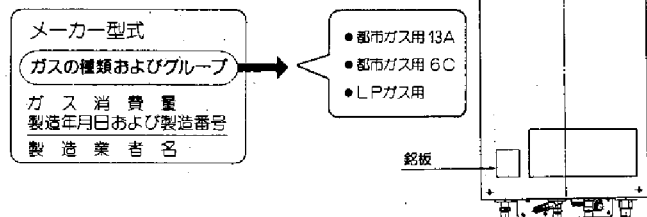
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器具(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。
- 銘板は器具正面左下に貼っています。
- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

(銘板)

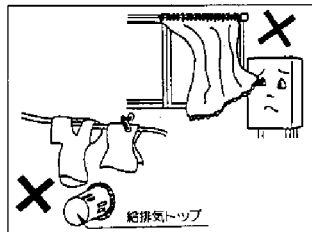


使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数をご確認ください。
この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

火災予防

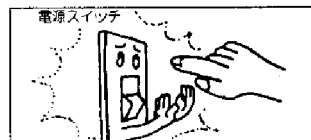
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に給排気トップは洗たくものなどで、おおわらないでください。



特に注意していただきたいこと②

ガス事故防止

- ガス漏れに気付いたときは、ただちに使用を中止して、ガス元栓を閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

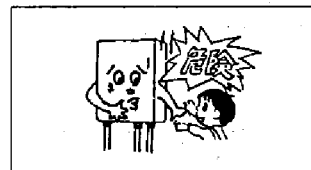


使用上の注意

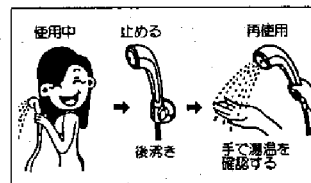
- ①用途について
 - 給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだし以外の用途には使用しないでください。
- ②市販の補助用具について
 - この器具の付属品が指定のもの以外は使用しないでください。

図やけどの注意

- 使用中および消火直後は、排気筒が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。



- 再使用の場合、一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。特にシャワー使用時は、いきなり身体や頭にかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。



特に注意していただきたいこと③

④飲料用、調理用に使用されるときは、給湯配管内に長時間たまった水を放出した後使用してください。

⑤雷時のご注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品が破損することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

⑥健浴剤のご使用について

- 硫黄系の健浴剤は風呂アダプタが腐食する原因となるものがありますので、健浴剤のご注意文をじゅうぶんお読みください。

⑦給湯栓の同時使用について

- 台所と風呂場などで同時に使用されますと、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。
- 風呂のお湯はり(追いだし)使用中に給湯(シャワー)栓を開くと自動的に給湯に切りかわります。

⑧水圧が下がったとき

- この器具は点火するのに0.15kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.15kg/cm以下に下がったり、給湯栓を極端に絞りますと、メーン/バーナは消火します。

電源について

この器具には、冬期の凍結による破損防止のために「凍結予防(電気)ヒーター」を別売で取付けることができます。その場合は凍結予防(電気)ヒーターが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。

凍結について

- 冬期には、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも寒波のため器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
(凍結予防方法については、21~22ページの「冬期の凍結による破損予防について」を参照してください。)

異常時の処置

- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、(地震、火災など)緊急の場合は、あわてずにガス元栓を閉じて消火してください。

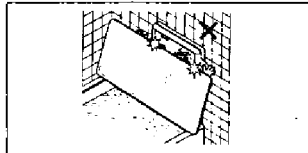
長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は必ずガス元栓、給水元栓を閉じ、電源プラグを抜いて器具の水抜きを行ってください。

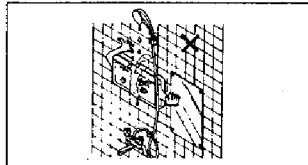
特に注意していただきたいこと④

風呂コントローラについてのご注意

- ①浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てないでください。



- ②風呂コントローラに直接水がかからないように注意してください。



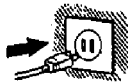
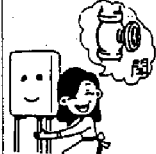
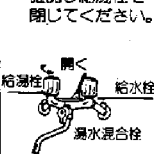
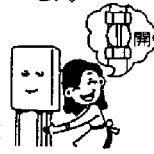
器具の設置

- ①器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
(詳しくは「工事説明書」をごらんください。)
- ②この器具は屋内専用ですので屋外には絶対に設置しないでください。

使用手順

使用前の準備と確認

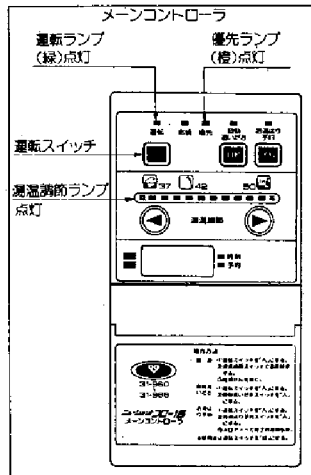
- 器具の点火操作をする前に次のことを行なってください。

| 手順 1 | 手順 2 | 手順 3 | 手順 4 |
|---|--|--|--|
| <p>●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。</p>  | <p>●給水元栓を全開にしてください。</p>  | <p>●給湯栓を開いて水が出ることを確認し給湯栓を開いてください。</p>  | <p>●ガス元栓を全開にしてください。</p>  |

使用手順②

点火の準備

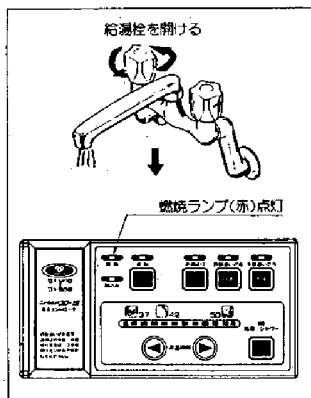
- メインコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを入れてください。
(運転ランプ(緑)・湯温調節ランプおよびメインコントローラの優先ランプ(橙)が点灯します。)



給湯・シャワー

①お湯の出し方(点火)

- ①運転ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。
- ②給湯栓を開けますと自動的にバーナに着火しお湯が出ます。
(燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



使用手順③

②湯温調節のしかた

(メインコントローラによる場合)

- ①優先ランプ(橙)が点灯していることを確かめてください。
(点灯していないとき、お使いの風呂コントローラの給湯・シャワースイッチを押して切替えてください)
- ②湯温調節スイッチを操作して、10段階の中から好みの温度にセットしてください。(下図参照)



〈お湯をぬるくしたいとき〉

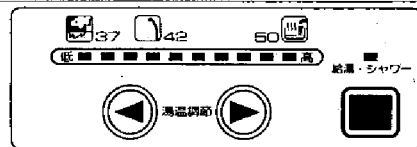
〈お湯をあつくしたいとき〉

- ダウンボタン(左)を1回押すごとにひとつずつ低温の設定温度になります。

- アップボタン(右)を1回押すごとにひとつずつ高温の設定温度になります。

(風呂コントローラによる場合)

- ①給湯・シャワーランプ(橙)が点灯していることを確かめてください。
(点灯していないとき、給湯・シャワースイッチを押して切替えてください)
- ②湯温調節スイッチを操作して、10段階の中から好みの温度にセットしてください。(下図参照)



〈お湯をぬるくしたいとき〉

〈お湯をあつくしたいとき〉

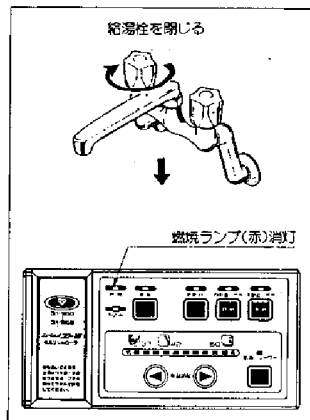
- ダウンボタン(左)を1回押すごとにひとつずつ低温の設定温度になります。

- アップボタン(右)を1回押すごとにひとつずつ高温の設定温度になります。

使用手順④

③お湯の止め方(消火)

- 給湯栓を閉じると、お湯は止まり、自動的にバーナも消火します。(燃焼ランプ(赤)が消灯します)



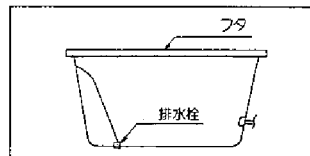
〔ご注意〕

- ①使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。
- ②初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、一旦給湯栓を閉じて約9秒間待ち再び給湯栓を開いてください。
- ③給湯栓を極端に絞りますと、バーナが消火し、水に変ることがあります。
- ④給湯栓を閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)異常ではありません。

使用手順⑤

(風呂の)お湯はり

- スイッチひとつで、浴そうへ自動的に適温適量のお湯をはることができます。



①お湯はりの準備

- ①浴そうの排水栓をしっかりとめ込んでください。
- ②浴そうのフタを閉じてください。

②お湯はり温度調節と水量調節

- ①お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。お風呂の適温位置は、3～5の範囲を目安に調節してください。
- ②お湯はり水量つまみを回して、お湯はりの水量を調節してください。(季節が変わっても調節は必要ありません。)浴そうの大きさにより調節位置が変わりますから、3～5の範囲を目安に調節してください。

(お湯はり温度)

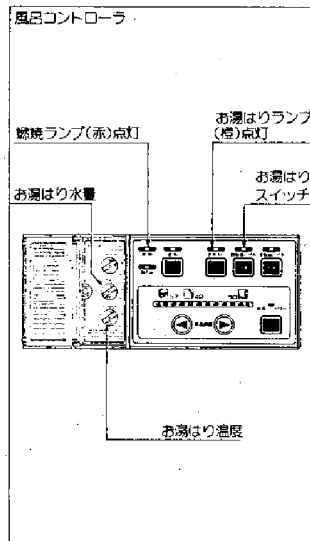
| 目盛 | 温度 |
|----|-------|
| 3 | 少しぬるい |
| 4 | 適温 |
| 5 | 少しあつい |

(お湯はり水量)

| 目盛 | 浴そう |
|----|-------|
| 3 | 1人用 |
| 4 | 1.5人用 |
| 5 | 2人用 |

③お湯はり開始(点火)

- お湯はりスイッチを入れてください。器具は自動運転し、風呂アダプタからお湯が出てきます。(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します)



④お湯はり停止(消火)

- お湯はり水量調節で、設定された水量になりますと、お湯はりは自動的に停止します。(メインコントローラよりメロディーで、お湯はりの終了をお知らせします)

使用手順⑤

- お湯はりを途中で止めたいときはお湯はりスイッチを切ってください。
(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。)

〈ご注意〉

- お湯はり、追いだき開始時、「ポコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒出てきますが異常ではありません。

タイマー予約によるお湯はり①

- ご希望の時刻にお湯はりを開始させ、空の浴そうへ自動的に適温(お湯はりの設定温度)・適量(お湯はりの設定水量)のお湯をはることができます。

①現在時刻合せ

- メインコントローラの時計表示/パネルの現在時刻表示をご確認ください。
時刻が合っていないときは、必ず時刻合せをしてください。

(※詳しくは、15ページの「現在時刻の合せ方」の項をごらんください。)

②予約時刻合せ

- ①お湯はりを開始する時刻を合せてください。

(※詳しくは、16ページの「予約時刻の合せ方」の項をごらんください。)

- ②予約時刻は一度時刻合せをされると、停電後または、予約時刻を変更される
とき以外は、操作する必要はありません。

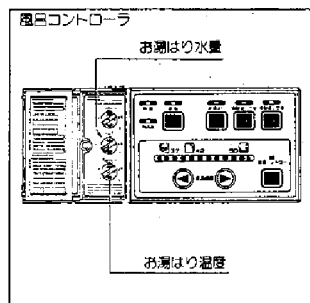
③お湯はり温度調節と水量調節

- ①お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。

お風呂の適温位置は、3～5の範囲を目安に調節してください。

- ②お湯はり水量つまみを回して、お湯はりの水量を調節してください。(季節が変わっても調節は必要ありません。)

浴そうの大きさにより調節位置が変わりますが、3～5の範囲を目安に調節してください。

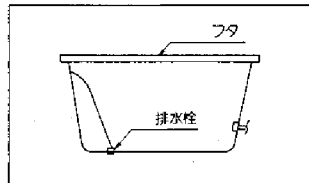


使用手順⑦

タイマー予約によるお湯はり②

④予約運転の準備

- ①浴そうの排水栓をしっかりとはめ込んでください。
- ②浴そうのフタを閉じてください。



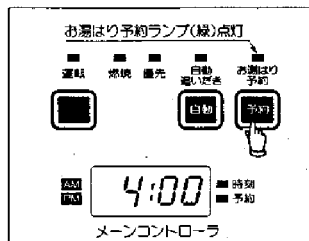
⑤予約運転の開始

- ①メインコントローラのお湯はり予約スイッチを入れてください。

(お湯はり予約ランプ(緑)が点灯します。)

- ②予約した時刻になると自動的にお湯はりを開始します。

(お湯はり予約ランプ(緑)(赤)に変わり、風呂コントローラのお湯はりランプ(橙)が点灯します。)



〈ご注意〉

- お湯はり予約スイッチを入れても予約した時刻になる前に追いだきまたはお湯はりスイッチを押すとお湯はり予約は解除されますのでご注意ください。

⑥予約運転の停止

- ①お湯はり水量調節で、設定された水量になりますと、お湯はりは自動的に止まり、メインコントローラよりメロディーで、お湯はりの終了をお知らせします。

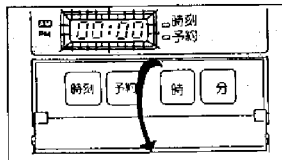
- ②お湯はりを途中で止めたいときは風呂コントローラのお湯はりスイッチまたはメインコントローラの運転スイッチを切ってください。

(メインコントローラのお湯はり予約ランプ(赤)と風呂コントローラのお湯はりランプ(橙)が消灯します。)

使用手順③

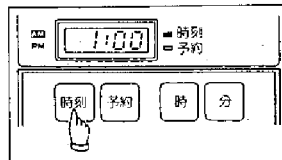
現在時刻の合せ方(メインコントローラ)

①電源プラグを差し込むとメインコントローラの時計表示パネルにAMランプが点灯(00:00)と時刻表示が点滅します。



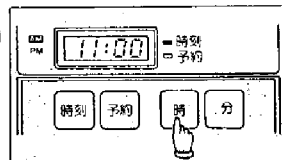
②メインコントローラのフタを開けてください。

③時刻スイッチを押してください。
時刻ランプが点灯し、点滅していた時刻表示が1:00の点灯に替わります。



④「時」合せ
「時」ボタンを押してください。

※「時」ボタンは1回押すと1時間毎に進み、押しつづけると早送りになります。



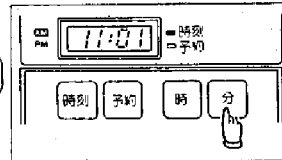
〈ご注意〉

- AM 12:00は午前0時、PM 12:00は正午を示します。

⑤「分」合せ
「分」ボタンを押します。

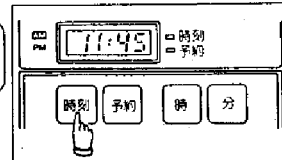
※「分」ボタンを1回押すと1分毎に進み、押しつづけると早送りになります。

⑥最後にもう一度「時刻」スイッチを押して時刻ランプの消灯を確認してください。



※時刻を正確に合せたいときは、電話(117)などの時報と同時に「時刻」スイッチを離してください。

⑦メインコントローラのフタを閉じてください。

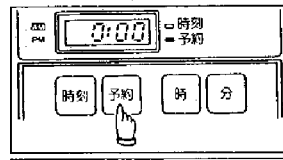


使用手順④

予約時刻の合せ方(メインコントローラ)

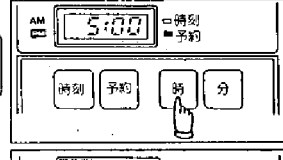
- 予約時刻(お湯はり開始の時刻)合せ。
- お湯はりを開始して沸き上がるまで約12分かかります。(1.5人そうの場合)ご希望の時刻にセットしてください。メインコントローラのフタを開けてください。

①「予約」スイッチを押してください。
予約ランプが点灯します。



②「時」ボタンを押してください。

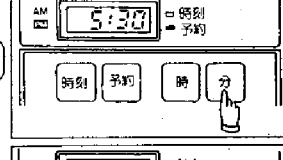
※「時」ボタンは1回押すと1時間毎に進み、押しつづけると早送りになります。



③「分」合せ

「分」ボタンを押します。

※「分」ボタンを1回押すと1分毎に進み、押しつづけると早送りになります。



④最後にもう一度「予約」スイッチを押して予約ランプの消灯を確認してください。

現在時刻を表示します。

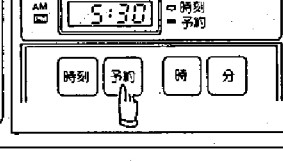
予約時刻合せ終了

⑤メインコントローラのフタを閉じてください。



予約時刻の確認のしかた

「予約」スイッチを押してください。
予約時刻を表示します。確認してください。再度「予約」スイッチを押して予約ランプの消灯を確認してください。
現在時刻表示にもどります。



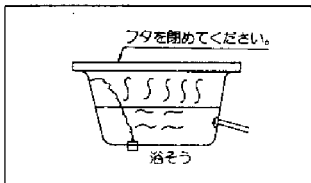
使用手順⑩

足し湯

- 足し湯は残り湯があまりきめていなくて湯の量が少なくなったときに使います。

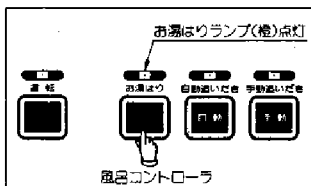
① 足し湯の開始

- 風呂コントローラのお湯はりスイッチを入れてください。
(お湯はりランプ(橙)が点灯します。)
- 自動的に点火して風呂アダプタから設定した温度のお湯が出てきます。



② 足し湯の停止

- 風呂コントローラのお湯はりスイッチを切ってください。
(お湯はりランプ(橙)が消灯します。)
- 自動的に消火して足し湯は停止します。

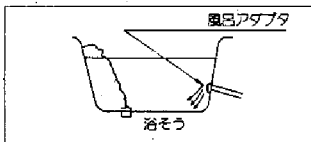


手動追いだし

- 手動追いだきは浴そうの湯の量は十分であり、少しだけぬるくなったときに使います。

① 手動追いだきの運転

- 風呂コントローラの手動追いだしスイッチを入れてください。
(手動追いだしランプ(橙)が点灯します。)
- 風呂アダプタからの高温水が出て追いだしを行います。



② 手動追いだきの停止

- お好みの温度になりましたら手動追いだしスイッチを切ってください。
(手動追いだしランプ(橙)が消灯します。)
- 風呂アダプタからの高温水が止まります。



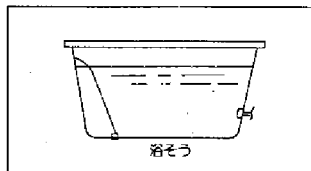
使用手順⑪

自動追いだし

- 4時間の間、自動的に設定されたお好みの温度に湯温を保っておくことができます。

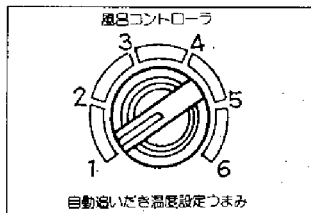
① 自動追いだきの準備

- 浴そう内の水(湯)の水位を確かめてください。
- 湯が少ないときはあらかじめお湯はりをしてください。



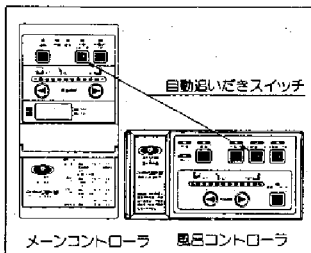
② 自動追いだし温度の設定

- メーンコントローラの運転ランプが点灯していることを確かめてください。
- お風呂の湯温設定は、風呂コントローラのフタを開いて、自動追いだし温度設定つまみにより、およそ3~5の範囲を目安に調節してください。
- 一度お好みの温度に設定しておくとな後はさわりなくもけっこうです。



③ 自動追いだきの開始

- メーンコントローラまたは風呂コントローラの自動追いだしスイッチを入れてください。
(メーンコントローラ、風呂コントローラの自動追いだしランプ(橙)が点灯します。)



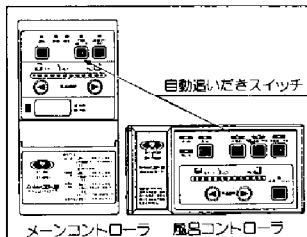
- 自動的に点火して、風呂アダプタから高温水が出て追いだしを行います。
- 自動追いだしスイッチを押してから、4時間の間浴そう内の湯温を自動的に設定温度に保ちます。

使用手順⑫

自動追いだし

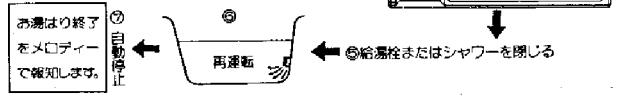
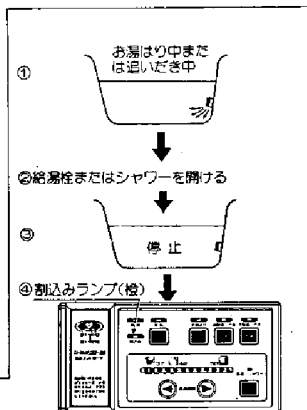
④自動追いだきの停止

- ① 4時間経過すると自動的に停止します。
- ② 自動追いだきを途中で停止したいときは、メインコントローラまたは風呂コントローラの自動追いだしスイッチを切ってください。
(自動追いだしランプ(橙)が消灯します。)



お湯はり、追いだし中に給湯を使用するとき

- ① お湯はり、追いだし中に給湯栓を開けると、自動的に給湯に切り替ってお湯が出てきます。
 - ② 給湯に切り替わっている間は、お湯はり・追いだきは停止します。
(風呂コントローラ:割込みランプ(橙)が点灯します)
 - ③ 給湯栓を閉じると元の使用状態(お湯はりまたは追いだし)に自動的に復帰し、設定水位に自動停止します。
- 最初に設定したお湯はりの運転時間は変化しません。



(ご注意)

- ① お湯はり、追いだし開始時、「ポコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒出てきますが、異常ではありません。
- ② 給湯栓を閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)、異常ではありません。

使用手順⑬

停電時の処置

①お湯はり・追いだし使用中の停電の場合

- ① 風呂アダプタから水が流れ放しになりますから器具下の給水元栓を閉じてください。
- ② 通電した時は、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

(ご注意)

- 再使用したときは、お湯はりの水量調節は初めの状態に戻っています。お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されると、お湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

②給湯使用中の停電の場合

- ① 給湯栓を閉じてください。
- ② 再通電したときは、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

断水時の処置

- ① 断水のときは使用しているすべてのスイッチを切り、給湯使用中のときは給湯栓を閉じてください。
- ② 通水後は、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

(ご注意)

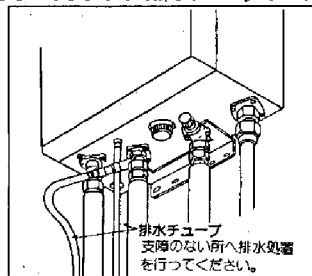
- お湯はりまたは追いだし使用中に断水したときは、お湯はり水量調節も停止し、初めの状態に戻ります。
お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されるとお湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

排水の処置

- ① この器具には過圧防止弁およびアーチャーシ弁が組込まれています。これらの弁が作動すると水がポタポタと出ることがありますので排水チューブがつけてあります。
- ② 排水チューブは水が落ちても支障のないところへ排水処置を行なってください。

(ご注意)

- 過圧防止弁、アーチャーシ弁が運転を停止した直後、あるいはお湯はりや追いだきの開始時に作動して水がポタポタ出ることがありますが器具の故障ではありません。



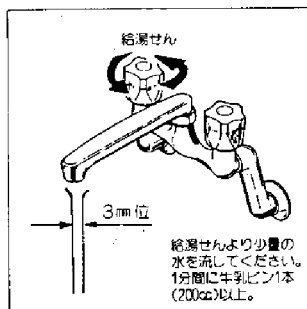
冬期の凍結による破損予防について

- ①凍結すると器具や配管が破損し高額な修理費がかかる場合があります。凍結による修理は有料となっております。
- ②凍結したまま使用されると器具に異常が生じる場合があります。凍結がけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。

凍結予防方法について

①給湯せんから水を流す方法(一般的な凍結予防方法)

- 器具本体だけでなく給水・給湯配管の凍結も予防できます。
- ①ガス元栓を閉じ、メインコントロールの運転スイッチを切ってください。
- ②給湯栓より少量の水(1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)特に寒い日は多めに)を流してください。



〈ご注意〉

- 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。
- 浴そう内へは水を流さないでください。

②器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

- この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、凍結による器具破損を予防するのに最もよい方法です。次の操作手順で器具の水を抜いてください。(水受け容器を必ず用意してください)
- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ガス元栓を閉じてください。
- ③給水元栓を開いてください。
- ④すべての給湯栓を開いてください。
- ⑤水抜き栓④、水抜き栓⑤、を左に回して外してください。
- 次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

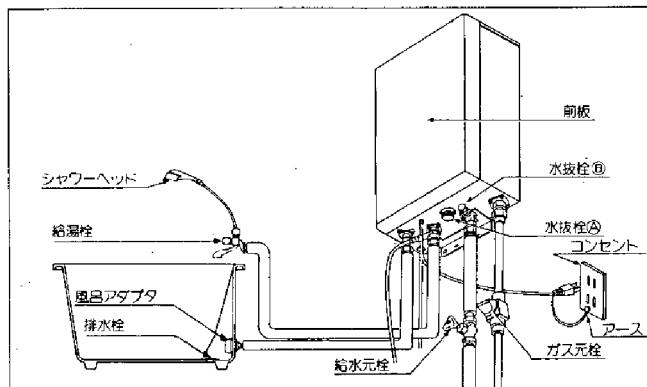
冬期の凍結による破損予防について②

●再度ご使用のときの手順

- ①水抜き栓④、水抜き栓⑤、をしっかりと取り付けてください。
- ②給水元栓を開き、給湯栓から水が出るのを確認してください。
- ③必ずすべての給湯栓を閉じてから、8~19ページの「使用手順」にしたがってお使いください。

※風呂配管の凍結による破損予防について

外気温度が極端に低くなるおそれのある場合は、浴そうのお湯を最後の人の入浴後に抜いてください。



※凍結予防(電気)ヒーターによる方法

- この器具には、気温が下がってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを別売で相談することができます。

〈ご注意〉

- 凍結予防ヒーターは電源プラグを抜くと作動しません。他の凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。
- 凍結予防ヒーターは凍結を予防するもので外気温が極端に低くなる恐れのある場合はこの凍結予防ヒーターだけでは効果ありませんので、前の①、②の方法をおとりください。また浴そうの湯は最後の人の入浴後、必ず完全に排水してください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ㉔

安全装置の種類とその働き

① 立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

② 過熱防止装置

使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

③ 空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

④ 過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約90℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

⑤ 過圧防止安全装置

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますのでチューブが支障のないところへ排水処理されていることを確認してください。

(20ページの「排水の処置」の項をごらんください)

〈ご注意〉

- 空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

⑥ 凍結予防装置

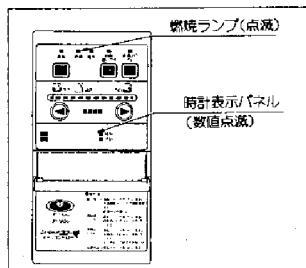
21～22ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ㉕

■ 異常報知(警報モニター)について

- 風呂コントローラ、メインコントローラには、器具本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる異常報知(警報モニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。

〈メインコントローラの場合〉

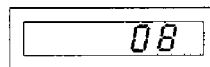


- 不具合が発生すると、左図のように燃焼ランプが点滅をはじめ、時計表示パネルには「01」～「12」の数値が表示点滅します。

① 時計表示パネルにどのような数値が表示されているか確認してください。

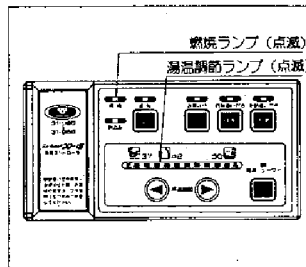
② 次頁下に警報モニターレベルがありますので表示された数値を一致するNoをさがしてください。

(例)



- 左のように時計表示パネルが「08」と表示しているときは、警報モニターレベル中のNo8「バーナコントローラ異常」が原因であることが判ります。

〈風呂コントローラの場合〉



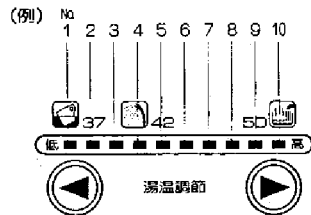
- 不具合が発生すると、左図のように燃焼ランプと湯温調節ランプのどちらかが点滅をはじめます。

① 湯温調節ランプの「点滅位置」をチェックしてください。

(「点滅位置」とは10段階に分れた温度の設定位置を指します)

② 次頁下に警報モニターレベルがありますので(チェックした「点滅位置」と一致する内容をさがしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法④



- No.5が点滅していたら、「出湯サーミスタ異常」が原因。
- No.8が点滅していたら、「バーナコントローラ異常」が原因。
- No.1とNo.10が点滅していたらNo.11の「追いだし時に水量センサーOFF」が原因と判ります。

警報モニターの表示

- 器具本体前面の裏側に貼付されています。

警報モニター

警報時は、まずハーネス及びハウジングの接続が正常であるか確認してください。メンテナンス時は、AC100V電源を切ってください。

| No. | 時計表示 パネル (メインコントローラ) | 湯温調節ランプ 点滅位置 (フロントローラ) | 内 容 |
|-----|----------------------------|------------------------------|------------------------|
| 1 | 01 | □ 35 | バーナ不着火 |
| 2 | 02 | □ 37 | バーナ失火 |
| 3 | 03 | □ | ハイリミットSW又は 温度ヒューズ作動 |
| 4 | 04 | □ | 入水サーミスタ異常 |
| 5 | 05 | □ 42 | 出湯サーミスタ異常 |
| 6 | 06 | □ | 送風機回転数異常 |
| 7 | 07 | □ | 給湯側高温検出(90℃以上) |
| 8 | 08 | □ | バーナコントローラ異常 |
| 9 | 09 | □ 50 | 切替弁異常 |
| 10 | 10 | □ 60 | 2心通信不良 |
| 11 | 11 | □ 35 60 | 追いだし時に水量センサーOFF |
| 12 | 12 | □ 35 60 | 風呂アダプサーミスタ異常(DX) |

仕様一覧表

| 品 名 | | ニュージェットフロー 18 | | |
|-------------|--|---------------------------------|----------------|------|
| 商 品 コード | | (FF型)31-985型 | (FF-W型)31-986型 | |
| 種類 | 給(出)湯方式 | 止め式 | | |
| | 給排気方式 | 屋内用(強制給排気方式) | | |
| 点 火 方 式 | 連続スパーク点火・ダイレクト着火 | | | |
| 最低作動水量(ℓ/分) | 3.0(作動水压0.15kg/cm ²) | | | |
| 外形寸法(mm) | 高さ600×幅400×奥行170 | | | |
| 重 量(本体)(kg) | 23 | | | |
| 排 気 温 度 | 260℃以下 | | | |
| 給 排 気 筒 | 給気φ90、排気φ80(最大延長7m4曲) | — | | |
| 接 続 | 給 水 | 15A(R1/2) | | |
| | 給 湯 | 15A(R1/2) | | |
| | 風 呂 | 15A(R1/2) | | |
| | ガ ス | 5C……20A(R3/4)、13A-LP……15A(R1/2) | | |
| 電 気 関 係 | 電 源(V) | AC100 | | |
| | 消費電力(W) 60Hz | 60 凍結予防ヒーター100(別売) | | |
| 安 全 装 置 | 立消え安全装置(フレームロッド方式) 水量センサー、過熱防止装置、空だき安全装置 過昇温安全装置、過圧防止安全装置、漏電遮断器 | | | |
| 付 属 品 | ●風呂コントローラ ●壁貫通パイプ(S) ●木ねじ(5本) ●配管継手(S) ●メーンコントローラ ●風呂アダプタ ●フレキシブル管(S) | | | |
| 別 売 部 品 | ●配管カバー ●低温作動弁セット ●壁貫通パイプ(S) ●風呂アダプタ ●バキューム取付セット ●凍結予防ヒーター ●給排気トッパ ●給、排気筒材料 | | | |
| 使用ガスグループ | 1時間当りの ガス消費量 Kca/h | 出 湯 能 力 ℓ/分 (ガス消費量最大時) | | |
| | | 最 大 | 上 昇 温 度 | |
| 都市 ガス | 13 A | 30,000 | 25℃ | 40℃ |
| | 6 C | 30,000 | (16.0) | 10.0 |
| L P ガ ス | | 2.50kg/h | (16.0) | 10.0 |

- 備 考 ●ガスはJISC規定する標準ガス、標準圧力のとま。
●上表の出湯能力()は、湯水混合水栓で混合したとき。

アフターサービス

サービスのお申し込み

●24～27ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

① 品名……*コンセントフローヒ*

② 大阪ガス商品コード……器具の正面左下に貼付してあります。

(例)

(4)31-965(U)

大阪ガス株式会社

③ 現象……できるだけ詳しく

④ 道順……できるだけ詳しく

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- この器具には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

●無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メモ